

師弟同行

平成27年1月8日(木)

第9号

発行者 相馬 郁夫

教育目標(目指す生徒像)～ 学びとる力 思いやる心 たくましい体 ～

□励まし合い自分の限界に挑戦しました／校内長距離走大会

12月10日(水)、協和中周辺の農道を利用して校内長距離走大会が行われました。生徒達は、大会に向けて体育の授業を中心に練習を重ね、「敵は我にあり」を合い言葉に一人ひとり自分の限界に挑戦しました。最後のランナーを全校生徒が拍手で迎え入れるなど心温まるシーンもありました。

尚、走った距離は、女子が2.1km、男子が4.2kmです。

【持久走大会の目的】

- ① 周囲と励まし合い最後まで走り抜く態度を育てる。
- ② 長距離を走ることによって持久力を高め、心身を鍛え学校生活に生かす。
- ③ 健康・安全に留意して、練習・競技する態度を育てる。

上位15位まで表彰されましたが、紙面の都合で3位までの入賞者と記録を下表に示します。

	1位	記録	2位	記録	3位	記録
1年女子	K. R	8'44 70	E. M	8'51 20	T. Y	8'55 07
1年男子	S. Y	14'57 38	H. T	14'58 77	H. N	14'59 34
2年女子	S. H	7'42 80	Y. Y	8'09 15	H. Y	8'28 43
2年男子	Y. R	13'53 86	I. R	14'07 36	I. K	14'46 34
3年女子	H. N	8'48 52	I. R	9'04 82	T. M	9'16 34
3年男子	H. K	14'20 14	Y. A	14'24 32	M. T	14'46 55



□ は、大会新記録です。

□性に対する心のあり方と知識を学びました／学校保健委員会

12月9日(火)5、6校時に、本校体育館において2年生を対象に思春期講座を兼ねて学校保健委員会が行われ、市保健センターの阿部有子先生と鈴木まりな先生が、「あなたらしく輝くために」という演題で性教育に関する講演をしてくださいました。

最初に出産の様子のビデオを視聴し、命の誕生の神秘と命の大切さを感じ取りました。次に教員による寸劇で男子がキスを求め、女子がそれをアサーティブに断る様子が演じられ相手を思いやることの大切さを学びました。その後、望まない妊娠による心の傷や性感染症の問題、男女の性に対する感じ方の違い等を踏まえ、望ましい男女交際について説明がありました。



□2学期の終業式(12月25日)で生徒諸君に伝えたこと

2学期の沢山あった行事の中で、主役である皆さんに喜んでもらいたい、輝いてもらいたいという願いをもった「縁の下の力持ち」の存在を忘れてはなりません。大切なことは感謝です。感謝の気持ちを忘れず、これからの人生の中で、今度はみんなが「縁の下の力持ち」として社会を支えていってほしいと思います。

日本には正月の2日に新年の抱負などをしたための書き初めという習慣があります。目出たい文字や、大切にしたいことばを書き、目に付く所に貼って心の拠り所にしました。また、初詣も「今年も新しい年を迎えることができました。ありがとうございます。」「今年はこんな年にしたいと思います。温かく見守ってください。」という気持ちを、神様に伝え新しい気持ちで新年に臨もうとする日本の習慣です。年末年始のこの時期、この雰囲気ではできない心のリセットをしてほしいと思います。

家の手伝いをしましょう。家の手伝いをすることが、家の人に感謝を感じ、また、感謝を返すことになるからです。3年生は、受験勉強の合間にできるほんの5分程度の手伝いでいいんです。その5分がきっと家族とのあたたかいひとときに繋がりにゆとりができてくるはずです。1・2年生は、年末の大掃除をしっかりと手伝いましょう。家族との大掃除の思い出は温かい思い出として心に残るものです。



□生徒達が手を挙げてくれてうれしかった／食育に関する講話

12月5日(金)5校時に、本校体育館において2年生を対象に食育に関する講話が行われました。三重小の栄養教諭、大島昌枝先生から「正しい食習慣を身につけよう」という演題と「丈夫な体づくりのために～朝食抜きの弊害について～」という副題で講話をいただきました。講話後、「私からの質問に対して生徒達が沢山手を挙げてくれてうれしかったです。」とお褒めの言葉を頂きました。



□少年消防クラブ合同研究発表会



12月12日(金)14時から市民会館小ホールにおいて市内市立中学校11校の少年消防クラブ員による合同研究発表会が行われました。本校からも安全委員のK. S君、O. T君、O. M君の3名が「災害拠点病院・DMAT」について研究発表をしました。

本研究発表会は、足利市少年消防クラブ推進委員会が主催で行われているもので、中学生の防災意識向上のために行われています。

□学校アンケートお世話になりました

2学期末に学校に関するアンケートを採らせていただきました。お陰様で、91%という高い回収率でアンケートを回収することができました。この場を借りてお礼申し上げます。ご協力有り難うございました。同等のアンケートを生徒も実施しました。それらも含めた集計結果について、後日報告したいと思います。また、学校評議員の方々にも見てもらいご意見を頂き、次年度に生かしていきたいと思っています。

□学校アンケート結果から

>>>アンケート結果から分かる傾向を以下にまとめてみました。

○宿題の実施状況に関する評価について生徒、保護者ともに不十分と判断しています。

○最も高評価の項目は、生徒はきまりマナー遵守、保護者は学校からの情報発信の項目でした。

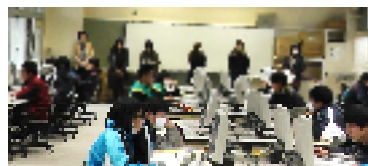
○誇れるところ・改善したいところは、教職員にもアンケートを採りました。その結果、

誇れるところでは、生徒と保護者はあいさつ、教職員は5S運動でした。一方改善したいところは、生徒はけじめ・時間厳守、保護者は登下校の交通安全、教職員はあいさつでした。

尚、自由記述の要望については、後日教職員で検討し回答できるものは回答したいと思います。

□たくさんの授業参観有り難うございました／2学期学年部会

12月11日(木)、2学期の学年部会が開かれ、1学期同様、沢山の保護者の方が、授業参観に来てくださいました。ありがたいことであると感謝申し上げます。その後の学年部会で、生徒の様子を映像で紹介させていただきましたが、盛りだくさんな内容を時間の都合で圧縮したため、見にくかったことをお詫び申し上げます。



□3学期の始業式(1月8日)で生徒諸君に伝えたこと

さて今日は、新しい年、新しい学期の始業式ということで、詩を1つ紹介したいと思います。長野市にある円福寺というお寺のご住職で、藤本 幸邦(こうほう)さんの詩です。

はきものをそろえると心もそろう

心がそろうとはきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと

はくときに 心がみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと

世界中の人の心もそろうでしょう



「心がそろうとはきものもそろう」とは、「みんなが絆で結ばれれば、住みよい社会ができあがりますよ」と言っている気がします。

「ぬぐときに そろえておくと はくときに 心がみだれない」は、「先を見通して備えておけば気持ちよく物事が進みますよ」と言っている気がします。

「だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう」は、「何かマイナスなことを見たら、みんなでプラスに変えていこう。そうすることで感謝が生まれより住みやすい社会が創られてきますよ」と言っている気がします。

※歳末たすけあい募金 11,069円集まりました。ご協力有り難うございました。